

# 女子バレーボール部

## 部の沿革

- 平成 28 年 4 月 神戸市立神港高等学校と神戸市立兵庫商業高等学校の統合により、神港橘高等学校と 3 校合同チームが発足。平成 29 年 9 月から「神港橘高等学校単独チーム」として活動開始、現在に至る。

## 戦績(令和 3 年度)

- 神戸市内高等学校バレーボール春季 1 部リーグ戦 第 3 位
- 神戸市内高等学校バレーボール春季大会 5 位
- 兵庫県高等学校総合体育大会 2 回戦
- 神戸市内高等学校バレーボール秋季 1 部リーグ戦 第 3 位
- 選手権大会神戸地区予選大会 第 7 位
- 全国高等学校バレーボール選手権大会兵庫県予選大会 2 回戦
- 神戸市内高等学校バレーボール新人大会 第 3 位
- 兵庫県高等学校バレーボール新人大会 令和 4 年 3 月 29 日~(開催予定)



## 戦績(過去 6 年間)

- 神戸市内 1 部リーグ戦(春季・秋季合計 12 回) ⇒6 年間 1 部を死守(神港高から現在まで 25 年以上継続)
- 神戸市内大会ベスト 8 以上(ベスト 4 回) ⇒6 年間ベスト 8 以上を死守( )
- 兵庫県大会(総体、選手権、新人)ベスト 16 以上⇒令和元年度県総体ベスト 16

「近畿大会出場」神港橘高として初出場!!

(神港高から 25 年間で 10 回出場!!)



練習の様子

## 令和3年度を振り返って

- 今年度は令和2年度から引き続きコロナ禍にあり、学校行事、部活動などが大きく制限される中での活動を余儀なくされました。しかし、そのような中でも令和2年度には中止されていた各大会が「無観客」などの制限はありましたが開催され、出場できたことは有難いことでした。大会に向けて日々の練習やトレーニングに精一杯取り組み、その成果を試すための試合に出場できることに大きな幸せを感じました。

ただ、それまで15年以上続けていた「水曜合宿」(毎週水曜日~木曜日に合宿)、週末公式試合のある時の「週末合宿」(金曜日~大会終了まで)、県外遠征などがコロナ禍ですべて禁止されてしまい、部員たちが選手としても人としても大きく成長する機会が失われてしまいました・・・。

失われた機会と時間を与えられた時間の中で何とか取り返すべく、今まで以上に練習に対する「意識と集中」を求めるようになりました。その成果もあり、何とか今まで通りの結果を残すことができました。

今年のチームのスタートメンバー(3年生5名、2年生1名)の身長は、160cmを越える者が一人もいなくてチーム始まって以来の「低身長チーム」でした。「高さ」が求められる競技の特性から考えると、致命的な弱点になってしまいます。しかし、守り(レシーブ力)と安定性を磨くことで見事にその弱点を克服したことは、特筆に値すべきことだと思います。

スポーツにおける「結果」は、技術力だけでなく「人間力」も大きくかかわってきます。特に高校生スポーツはその要素が大きいように感じます。部員達にはいつも「結果はすべての総合力で決まる」と話しています。技術だけでなく、「挨拶」「返事」「掃除」に始まり「考え方」「生き方」などの「人」としての勝負になります。部員達には、今後の人生でもそういう「人」としての勝負ができるようになってほしいと思っています。

さて、現在チームは「新チーム」に切り替わっていますが、秋の市内新人大会では「第3位」という結果を残すことができました。県大会(3月開催予定)の出場権も獲得していますので頑張りたいと思います。

## 平成16年度初出場からの近畿大会出場記念パネル



### 部員とスタッフ

- ・ 3年生 : 5名
  - ・ 2年生 : 9名  
(内マネージャー1名)
  - ・ 1年生 : 10名 合計 24名
- 顧問：宮脇 雅昭(保健体育)  
西中 加代子(保健体育)